

研究課題名	大阪公立大学における腎癌に対する手術成績の検討
研究の意義・目的	転移を有しない限局性腎癌に対する治療の第一選択は手術療法ですが、手術術式や手術方法は多岐にわたります。当院における腎癌に対して手術を施行した方の治療成績や合併症などを検討し、今後の腎癌に対する最適な手術療法を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後～2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2013年4月1日～2024年3月31日の間に大阪公立大学医学部附属病院の泌尿器科で、腎癌もしくは腎癌を疑うと診断され、手術(開腹、腹腔鏡下、ロボット支援腹腔鏡下手術)を施行された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 <ul style="list-style-type: none"> 患者基本情報：年齢、性別、診療情報 検査結果：血液検査、画像検査(CT、MRI、骨シンチグラフィ、エコー) 手術情報：手術日、手術術式、手術情報(出血量、手術時間、合併症など) 治療経過 病理組織診断結果 術後合併症
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 研究責任者 山崎 健史
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 山崎 健史 電話番号：(06) 6645-2121 (代) メールアドレス：tysy-y@mx5.canvas.ne.jp